2018 年 9 月 9 日（日）

金時山（1212.5 m）

～Report　by　yosimatu ～

９月９日はクマさん会のリーダーである熊本さんが喜寿を迎える誕生日です。
金時山は何度も登っている山ですが、喜寿の祝いを兼ねて、クマさん会の馴染みの山に登ることにしました。
「富士八景の湯」で富士山を眺めながら湯に浸かり、湯上りに美味しいビールを飲みながら喜寿を寿ぐ山行です。

金時登山口から登り、矢倉沢峠から山頂を目指します。乙女峠に向けて下山して、乙女茶屋から長尾口まで歩いて、「富士八景の湯」に到着するコースです（下図）。
参加者は熊本さん、雄さん、文ちゃん、能勢さんご夫妻、池戸さん、堀さん、石井さん、大瀧さん、布目さん、川島さん、吉松の合計１２名の大人数になりました。

集合場所は金時登山口、集合時刻は９時５０分。
熊本、大瀧さんの両名はバスタ新宿から中央高速バスを利用して直接登山口へ。
池戸さんは、小田原駅発８時半のバスで、同駅から行く予定の他の９名より一足先に集合場所へ。
その他の９名は、小田原駅から桃源台行のバスを利用して登山口に近い仙石バス停で下車することにした。

中央高速バス利用組（バスタ新宿で乗車）

小田原駅からのバス利用組（桃源台行バスを待つ）

予定の集合時刻には、熊本、池戸、大瀧さんの３人は既に到着。
いまや遅しと、小田原駅からのバス利用組９人を待っていた。

箱根湯本駅前での渋滞の為、残り９名は５分ほど遅れて仙石バス停に到着して、金時登山口へ向かった。
先に到着組から、「遅い！走れ！」などと叱咤されたが、皆それなりの年だし、馬ではないのだから、誰も走るものはいなかった。

（レポーターの独り言）
上の写真で、何故レポーター吉松一人がビニール傘を差しているかは、説明を要する。
熊本さんから朝一番で、「箱根は午前中大雨警報！」とのメールを受け取った。
今日に限って、何時もザックに入れている折りたたみ傘を持参していなかった。「スワ！一大事」と小田原駅で慌てて買った。買ったのは自分一人だった。６００円也。
傘を買った後に、再び熊本さんからメールが入っていることを知った。「登山開始の頃には雨は止む予想、以降は晴れます。」メールを開けるのが遅かった、余計なものを買ってしまった、と悔いたが後の祭りだった。

仙石バス停で下車したら少し雨がぱらついた。「買って正解なのだ！」とやせ我慢をして広げたのがこの写真。

熊本さんご自身に本日の雨対策を聞いたら、今日はレインウェアさえ持ってきていないと言う。「雨になったらさっさと下って、温泉に浸かって皆が来るのを待っている。」との返事だった。

ともあれ、金時登山口に全員集合。

久しぶりの登山参加である能勢夫人、川島さん、大瀧さんとの交歓で、暫く話しが弾んだ。

金時山ハイキングコーススタート地点での総勢１２名の集合写真

１０時　出発

１０分ほど歩いたところの金時山コース登り口で、再び集合写真

このコースは下山時に利用したことは多いが、登りはあまり無い。

吉松一人が傘を差していることに対して、後ろについている大瀧さんから、「おかしい！変だ！異様だ！」と言われたが、厳しい指摘に耐えながら差し続けた。
何しろ６００円で買ったのだ。

登り始めて３０分ほどで矢倉沢峠（うぐいす茶屋）に到着。

晴れていればここから山頂辺りが望めるのだが、今日は生憎低く垂れ込めた雲の中だ。

ここまでは１２人がそろって、順調に登ってきた。

１０分の休憩で鋭気を養ったのち、出発。

風が抜けるようになり、雲も動いて、視界が開けた。
仙石原高原、大涌谷、遠くは芦ノ湖を望むことが出来た。

「金時神社分岐」で小休止。

矢倉沢峠までは皆一緒に登ってきたのだが、そこから先は急登も有ったりして、やや隊列が伸びてしまった。

登りの暑さに弱い布目さんが少し遅れた。

久方ぶりで参加の能勢夫人もやや苦戦。

「金時神社分岐」から先は道に迷うところはなく、山頂までは２０分ほどだ。
休息が済んだ人から三々五々登っていくことになった

（特別番外編　その１）
金太郎印を書き込んだ真っ赤な前掛けをした一団と遭遇。
頬も赤く塗り込んでいて、ドッキリ。

先行組は計画通り、１１時３０分過ぎには金時山山頂（１２１３ｍ）に到着。
山頂は、吹き上げてくる強風で寒いくらいであった。

後続を待たず昼食を開始。池戸さんが冷えた缶ビールを持ってきていて、少しずつ分け合って飲んだ。
果物や野菜を持参の人もいて、贅沢な山頂での昼食となった。

少し遅れてしまった能勢夫妻もやがて到着。

能勢さん持参の赤ワインを全員のカップに注いで、熊本さん喜寿を祝い、乾杯した。

食事中にタイミング良く、雲が流れてくれて、雲間に富士山が顔を出した。

喜寿を共に祝ってくれているようであった。

眼下には、仙石原高原、芦ノ湖も望むことが出来た。

下山に先立ち、記念の集合写真を撮った。丁度富士山も頭を現した良いタイミングであった。

大瀧さんが、どさくさに紛れて鉞（まさかり）の柄で熊本さんの頭を「どついた」とか、「どついていない」とかで大騒動となり、いやはや賑やかな撮影タイムとなった。
（レポーター㊟　本当はどさくさに紛れて「どついた」に違いない。）

鉞（まさかり）担いで大騒動。
鉞を持ち上げる池戸さんと、
どついた鉞を振り上げる大瀧知子さん。

１２時２０分、乙女峠に向かって下山を開始した。
下りは快調だが足下がぬかるんでいるため、滑らないように慎重に歩を進めた。

１３時５分、長尾山山頂（１１４４ｍ）で休憩。

長尾山から乙女茶屋は１０分ほど。

乙女茶屋手前の整備された休憩所で一休み

少し下った、乙女峠の展望台で、またまた集合写真。
１２人も乗ったら展望台が、つぶれるの崩れるのと、ここでも大騒ぎ。

（特別番外編　その２）
下山途中で靴底が２つも落ちていた。
同じ靴の左右のようだ。他人事ながら、どうやって岩が多い山道を歩いたものか？

以下、登山道で出会った花々や蝶の写真

シオン(紫苑)：熊本さんの誕生日９月９日の誕生花！

タマアジサイ？

クサボタン

フウロソウ

アザミ

シロヨメナ

サルスベリ

萩

アジサイの仲間？

オイトコエシ

シュウカイドウ

？

？

マツムシソウ

アサギマダラ（蝶）

ツリフネソウ

テッポウユリ

乙女峠から下り終わったところで、女性と男性は別れて「富士八景の湯」に向かうことになった。

女性４人は、「富士八景の湯」からの迎えのマイクロバスに乗ることにした。
男性８人は、引き続き歩いて長尾口まで行き、「富士八景の湯」で合流することにした。
途中、女性が乗ったマイクロバスとすれ違った。車中の女性４人は、「あの人達は、何がうれしくて歩くのか？馬鹿ね～。」と言ったとか、言わなかったとか。
（レポーター㊟　何時もの言動から推測して、間違いなく言ったと思われる。）

長尾口までの道も木立に囲まれて、なかなか捨てがたい散策道であった。
途中富士山全容も望めた。

３時、「富士八景の湯」に到着。

長い歩行では無かったが、湿度が高くてすっかり汗をかいてしまった。
先に到着した女性４人は既に湯に浸かっている。男性陣も急いで汗を流すことにした。

「富士八景の湯」には個室を予約しておいた。
湯上がりでゆっくりくつろぎながら、熊本さんの喜寿のお祝いをするためだ。

恒例により、まずは生ビールで乾杯。つまみは、枝豆、イカリング、ゴボウの揚げ物。
続いて、持参の赤ワインで熊本さんの喜寿を祝って乾杯した。（「富士八景の湯」の方には内緒です。）

宴が進んだところで、熊本さんにお世話になっている会員の方々からのお祝いの寄せ書きをプレゼント

布目さんからは、お手製のお赤飯(栗おこわ)が贈られた。

また、大変うれしいことに、「富士八景の湯」さんからも、オリジナルタオルのプレゼントをしていただいた。
お気遣い、ありがとうございました。

宴が盛り上がり、予定を３０分延ばしての誕生祝いも１７時には終了。
「富士八景の湯」前で本日最後の集合写真を撮った。

「富士八景の湯」のマイクロバスで御殿場駅まで送ってもらった。
ホームで電車を待っている間に、雄さん差し入れの日本酒一本で、また一献。
クマさん会の登山は、健康に良いのか、悪いのか。難しいことはともかくとして、愉快な一日となった。

７年前（２０１１年）の９月９日に、クマさん会のメンバーで甲斐駒ヶ岳に登りました。熊本さんの古希の誕生日だとも知らずに登ったのですが、勿論本人は知っていて、赤ワインを自ら持参していました。山頂で乾杯したのを覚えています。

そのことを知っていて、山で、そして赤ワインで喜寿の祝いをしないのは、「その罪、万死に値する」ことは自明でした。今回天候に恵まれて、誕生日当日に金時山に登ることが出来て、多くの皆さんと一緒にお祝いが出来たのは、幸いでした。

能勢さんの一言で、熊本さんは８５歳までは山に登ることになったようです。クマさん会はいよいよ安泰となりました。

＝以下、特別の更に特別の番外編＝

熊本さんには、会員全員が少なからずお世話になっています。ご承知のことばかりですが、３件ほど紹介します。

＊右から２人目、川島さん

金時山の下山時に、浮き石に足を乗せて足首を骨折。動くに動けず、同行の男性陣に背負ってもらうことになりました。勿論熊本さんも背負いました。その重かったことが今も忘れられないそうです。

背負ってもらった本人は、「その頃より大分スリムになった」と威張っています。

＊右端　池戸さん

天下周知の暑がりやで汗かきです。度を超すと、体中がヒートアップするそうです。昨年８月、四阿山登山で完全にヒートアップ。予定を変更して、熊本さんに付き添われて下山することになりました。軽くしたいと、飲み水さえ捨てそうになったので、慌てて熊本さんが制止。命の恩人です。

体重１０キロ減量に挑戦中です。

＊吉松

１５年ほど前クマさん会に入会。当初は装備が酷かったようです。「その腐った登山靴をなんとかしろ！（一寸言い方は違ったかもしれません。）」と言われて、慌てて靴を買い換えた記憶があります。５月の御嶽山に雪が積もっているとは知りませんでした。諸先輩からあきれかえられました。

この頃は、登山計画の差し戻しを食らっています。

熊本さんへ贈呈した喜寿祝いの色紙↓